

議 事 録

会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会第3回理事会
日 時	期 日：平成30年9月21日（金） 時 間：14時00分～16時00分
場 所	天草市商工会 大会議室
議 事 内 容	
出席者	出席理事：松本國雄、濱崎昭臣、馬場昭治、山本博、下田昇一郎、一郷幸則、松本英樹、原田茂、崎本弘訓、濱崎宗治、田中光徳、藤本貴士、米田楊昌、中村健一郎 14名 欠席理事：永田章一、山下修平、高廣宗明、松永英也、金子信之、浜悦男、平下豊、岩下行也 出席監事：小田宗雄 1名 欠席監事：田崎良輔 1名 事務局：赤木聖一、城下聡子、大塚純子、中村彩、吉田綾、濱崎美圭、古川雄一 7名 支部事務局：五和支部担当山下 1名 議事録署名者：副会長 松本國雄 監事 小田宗雄 議 題 別添レジュメのとおり
1. 開会	(濱崎副会長) お忙しい中にお集まりいただきまして、ありがとうございます。なんとかいつも過半数をやっと超すような感じで、局長から先ほどご報告がございました。私もさっき電話を頂いたんですけども、こういう時こそみんなでやっぱり頑張ってやらないかなと副会長から言われんとですけど、お互いに団結してがんばっていかんと思います。余談ですけど6月の議会が今日終わりました。私も下田議員もちょうど間に合ったんですけど、その中でですね9月は決算委員会なんですよ。29年度の決算予算の報告があるんですが、実はその中で宝島が出て来まして、その委員会の中で予算が増えているのになんで減っているんですかと。宿泊が25万9千かいくらだったと思うんですが、僕たちは議員側ですから執行部に対して中村課長に申し訳なくてですね。課長ばかりいろいろ言われるもんだから。私もちょっとでしゃばって、すい

ません私のこの席からですけど僕からもお詫び申し上げます。というようなことを言ったんですが、やっぱりどうしてもそういう目を見た場合に頑張る気があっても数字がついてこないとやっぱりいかんと現実あると思うんですね。話す場面があればもっと詳しく話しますが、お互いに今日も新しい数字がいろいろと出ると思うんですけれども、それに対してみんなで頑張ってますね、一緒にやっていければと思います。どうか今日の理事会が有意義な会議になることを願ひまして開会の挨拶とします。よろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

(松本副会長)

改めまして皆さんこんにちは。急遽永田会長が体調を崩されたということで、私も来る途中で事務局長から電話を頂き急遽私が本日の理事会を取り仕切ることになりました。皆様方の協力をいただいてスムーズに遂行することをお願いしたいと思います。来年度の予算かれこれを提出しなければいけないという時期に来ています。総務委員会等でもいろいろと検討しております。そういうご報告もあとで皆様にもご報告、共有をしていただければならないかと思ひますけれども、よろしくお願いいたします。今年度は幸い天草は災害がありませんでしたけれども酷暑の夏でよそを見ますと、震災等で尊い命が亡くなられております。本当に遭遇された方々にはご冥福をお祈りしたいと思ひます。そういう中で皆様方には大変日頃から観光協会の運営につきましていろいろとご苦勞いただき、また協力を頂いております。こういう中で皆様方のご意見を顕著に受け止めて執行部、また事務局としっかり進めて参りたいと思ひます。どうかよろしくお願いいたします。私の挨拶に変えたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 赤木)

議事に入ります前に6月に開催いたしました総会におきまして今回新たに3名の理事また1名の監事が加わっておりますのでご紹介ならびに自己紹介と一言ご挨拶を頂ければと思ひます。

(原田理事)

こんにちは。理事会初めて出席させていただきましたけれども、栖本地区で温泉センターの支配人をしておりますけど、倉本前理事の後ということで急遽変更になって務めさせていただくことになりましたのでよろしくお願いいたします。

(藤本理事)

皆さんお疲れ様です。天草支部が1名増員ということで今年度よりまた就任させていただきました。下田温泉としましてもですね崎津集落に一番近い温泉地として、崎津を全面的にPRしてですね、天草崎津集落と連携をとって集客を図ってですね天草経済に貢献していきたいと思

っております。本来であるならば総会の前理事会で呼ばれてスタンバイしていたんですけれども、いろいろすったもんだがあって呼ばれなくて。もう1点ですね就任承諾書がそれぞれ届きますけども、それが退会届みたいなのが届いてましたからそれも。

(中村理事)

皆さんこんにちは。6月の理事会、総会に本来ならば出席しなければいけなかったんですけれども、都合でちょっと欠席をさせていただいたんですけれども、今回初めて出席させていただきます。4月の異動で観光振興課にまいりました中村と申します。どうぞよろしくお願い致します。観光協会とは当然一体となって観光行政進めなくてはいけないと思っております。また事業者のみなさんとも協力をしながら進めてまいりたいという風に思いますのでどうぞ私を使っただきますようお願いしまして、今後ともよろしくお願い致します。

(小田監事)

こんにちは。前回6月にも挨拶させていただきましたけれども、今回4月の人事異動で会計管理者に仰せつかりまして、全会計管理者の福本の後を継いでおります。いろいろと宝島観光協会の方にはお世話になりますけれども、天草の発展ために微力ながら私も頑張りたいと思しますのでよろしくお願い致します。

(事務局 赤木)

本日の理事会理事定数22名に対しまして、本日ご出席の理事の数が14名で過半数を超えておりますので、本日の理事会が成立することをここでご報告させていただきます。

(1) 平成30年度事業経過報告について

(事務局 大塚)

皆様には事前に資料をお送りしたかと思うんですけれども、お忘れの方とかはいらっしゃいますか。事前にお送りしていた資料の横版をご覧ください。九州一の観光地を目指して420万人顧客化プロジェクトという横版の方をもとにご説明をしたいかと思っております。1ページ目、九州一の観光地を目指して420万人顧客化プロジェクト。平成30年度は5つの柱で動いています。続きまして3ページをご覧ください。①世界遺産登録のビックチャンスを最大限活用するために、旅行エージェントへのセールス、情報発信、商品造成を行う。4ページをご覧ください。現在の崎津集落の観光入込客数の状況となっております。崎津観光案内所でカウントした数字なんですけれども、8月22、932名の方が来ていらっしゃいます。めくって4ページをご覧ください。8月までの数字を出しているかと思っておりますけれども、別刷りで本日お配りしております1枚のペーパーをご覧ください。主要宿泊施設宿泊状況のペーパーの方を本日お配りしているんですけれども、7月が前年の96%だったんですが、8月につきましては、前年の103%ということで前年より超えておりますことをご報告いたします。次のページを

ご覧ください。世界遺産登録の状況というところで、案内人の会ガイドの申込件数なんですけれども、8月末現在109件の申し込みがありまして。また、メディア、AGTなどへの露出の方も下の表に書いておりますように画像貸し出し件数は314件、メディア取材件数が98件になっております。また世界遺産登録に合わせまして天草宝島案内人の会で定時ガイドをスタートさせております。朝10時と14時から毎週土曜、日曜、祝日で実施してるんですけれども8月末現在で256名、また参加していただいたお客様に大変好評だったことからこちらの方は別刷りのチラシを同封しているんですけれども、11月25日までの土曜、日曜、祝日について延長することとしております。続きまして6ページをご覧ください。こちらの方が平成30年4月から6月の事業報告と書いてあるんですけれども、8月末現在までの数字がまとまっておりまして、旅行会社の企画本数が16本、今のところの見込みの予定数8月末現在が1,249人となっております。また招待事業及び誘致活動推進のほうは、4月28日の牛深港のにつぼん丸と6月10日に本渡港でにつぼん丸の受入をしまして来月10月9日ぱしふ、いっくびーなすのほう牛深港に来ますのでそちらの受入を行う予定になっています。次のページをご覧ください。②天草最大の武器「食」において、集客を図るためシーズン毎に旬の食材を使ったキャンペーンの実施。こちらの方は、今現在スタートしております天草伊勢えび祭り8月21日から12月28日までスタートしておりまして、昨年8月末までの状況なんですけれどもお客様のご利用人数が349名、売上が5,340,000万円だったんですが、今年の伊勢えび祭り8月末現在で、あと2件宿から回答が来ていない状況なんですけれども現在のお申込み人数が230名売上が8,320,000万円となっております150%アップの状況となっております。それと机の上に置いてありますように天草井井フェアが9月1日からスタートしたところです。また今後天草冬の夜美鍋キャンペーンが12月1日からスタートする予定となっております、天草朝食キャンペーンにおいても11月下旬ぐらいからスタート予定となっております。夜美鍋キャンペーンのチラシにつきましては、10月1日には出来上がってくる予定なんですけれども皆様のお手元には稿料しましたチラシのデータのほうを置いております。ご覧ください。次のページをご覧ください。③天草に来訪されたお客様の顧客管理をし、「おもてなし」の向上を図り。再来訪に繋げる。こちらなんですけれども、天草サマースタンプラリーを9月末まで実施しております。8月末の観光客からのアンケート及び、応募の枚数なんですけれども180枚を超えておりまして昨年よりも応募件数は増えているかと思われまして。また8月上旬に2,460通お客様に対してグルメフェア等のお便りを送っているところです。あと崎津集落への入込客数の調査ということで別紙でお配りしておりますけれども、崎津集落アンケート調査のホチキス留めのものをお配りしておりますが、192名からアンケートを徴収したところです。そちらによりますと、熊本、長崎からのお客様の入込が多く、また実施した状況を見ますと夏休みということもありまして家族連れのお客様が多かったように思います。また集落そのものの雰囲気だったり、海がきれいだったり、食、お宿のおもてなしがよかったというように感想がよせられておりますので、後ほど改めてご覧いただければと思います。それとみつばちラジオを使った天草宝島観光予備校が毎週木曜日4時半からコー

ナーを設けまして、島内全員が案内人としておもてなしができるようにとしまして情報発信を毎週行っております。次のページをご覧ください。④ホームページにおいて、情報発信、旅行商品販売、宿泊予約など観光客獲得と自主財源強化を図る。こちらなんです、ホームページに於いて情報の充実と、ツアーの販売を今現在実施しております。右側のグラフの表をご覧ください。現在のホームページのセッション数、スマホページのセッション数とも伸びておりまして、ホームページの方が前年の107%アップ、スマホの方が120%アップで伸びてきております。次のページをご覧ください。⑤今後増加が見込まれる外国人観光客の受入態勢の強化を図る。というところで、次のページをご覧ください。現在ホームページにクロスランゲージ、自動翻訳機能の追加を構築中ございまして、まもなく英語、中国語、韓国語のページが出来上がる予定になっております。次のページをご覧ください。今後の主な事業スケジュールを載せております。最後のページの皆さんニュースでご覧になってるかと思っておりますけれども、九州じゃらんの行ってよかった観光地で天草が1位を受賞しましたことをご報告いたします。以上です。

(3) 会員の見直しについて

(松本副会長)

理事会の資料の1ページに総務委員会の概要については説明にある通り、主な議題といたしまして、会費が取り上げられて各委員の方たちと議論をしていただきまして、大変貴重な意見を頂きましたけれども会費についてという事で改めて本年度総務委員会で一応決定し、総務委員会ではこれでいこうかということで決定しましたので、この中に書いてある通り会費改正の案という事で個人会費は一応5,000円、法人会費ですね、それを一応10,000円という、1口10,000円ということで一応決まったわけでございます。これにつきましてもそれぞれ各委員の方からご提案がありましてけれども、一応最低5,000円と10,000円というこの法人会員の会費につきましては、10,000円の方ですね、有明の観光協会、五和の観光協会です、旅館関係のかたは10,000円ということで、本渡もですかね。

(山本支部長)

本渡は今検討というところで回答をいただきましたので。

(松本副会長)

有明の方は1口5,000円を2口で10,000円というふうにしておりましてけれども、これから有明の方は1口10,000円という風に改定させていただいております。すでに五和の方は、崎本理事もおられますけれども10,000円ということで、その内容としましては、個人会員と法人会員ということで2つ色分けしまして、個人会員というのはここに書いてあります通り事業への参加案内がなし、それとホームページとパンフレットの記載もない、イベントへの参加有無、観光協会主催の旅行商品での取り扱い有無ということで一応総務委員会では決定しております。そういう風に色分けをしておいた方がいいんじゃないかという事で一

応各委員長さんに意見を頂いております。これに関してもいろいろご意見をいただきましたけれども一応これで行こうということできまりましたので、それと平成31年度の各支部からあがりました事業計画案、予算案についても一応各支部の支部長さんよりここにつきましては説明をいただきました。そういう中でここに示しているとおりの協賛金については観光ではないもの、地域の祭りには協賛しないとはっきりした明確に打ち出しております。それから市からの補助が出ているイベントには協賛をしない、という意見もありました。今回のこの要件を一応理事会に提出させていただきまして、今日出席の理事の皆様にご相談いただきこれで行こうということでありましたら、32年からですかね来年度、今年度の予算を来年度にしていきたいと思いますので、その次の予算からこの一番最低価格に会費としていったほうがいいんじゃないかと。この2ページ目に会費改正の案として取り上げておりますけれども、10,000円以上の所はですねまた各理事会あたりでいろいろたたき台を出しておりますので検討をしていただきたいと思っております。その中で5,000円と10,000円を一番最低ラインとしまして、今度新たにその上の口数、収容人員等について事務局で作っていただきましたけれども、これにつきましてはまだ決定ではございませんけれども、こういうたたき台を出してそれを皆さんに審議をしていただいた方がいいんじゃないかという事で、総務委員会でこういう案をだしております。これにつきましても皆様方にまたいろいろご審議を頂いてスムーズに会費改正の案がですね進行していくことをお願いしておきたいと思っております。一応ここに目安として示しておりますのでこれはお読みいただいてまた後にご意見等はいただきたいと思っております。次に事業委員会の馬場委員長をお願いします。

(馬場副会長)

3ページに載っております。事業委員会での事業報告ですが、第2回から第4回までの事業委員会を7月11日、8月20日、9月10日に開催をさせていただきました。まず第2回の実業委員会の中で崎津集落が世界遺産になったということで、三角西港であるとか万田坑などの県内の世界遺産の登録後の観光客入込客推移がどうなっているのかということで調査をしていただきまして、その報告をいただきまして意見交換をさせていただきました。その中で驚くべき数字が三角西港、それに万田坑もですね世界遺産登録されたけど全然増えていないと逆に万田坑に至っては前よりも減っているという結果でしたよね。確か。そういうことがありまして、崎津もですね油断することは出来ないなということでしっかり観光協会としていろんな事業等々取組をですね進めていかなければならないということを確認をした次第でございました。同時にですね、そういう観光をこれから事業をいろいろな形で進めていったり審議をしていったり、アイデアを出したり事業の計画を立てたりという中で、今まで事務局にですねある意味ほとんど企画からアイデア出しまですべてゆだねていた部分があったんですけども、事業委員会のなかでももっと積極的にかかわっていこうと、アイデアも出していこうということで、そういうことになりまして、今の委員会の構成メンバーだけでなくですねここに天草イルカインフォメーションの代表の野崎健さんですね。を委員に就任していただくとい

うことに委員会の中で決まりまして、本人にもご了解をいただいて就任していただきました。先日の第4回の事業委員会には出席をしていただいたということでございます。第3回の事業委員会の中で6月までの事業報告、宿泊実績の報告等々ございまして、じゃらん先に先ほども大塚さんの方からも話がありましたようにじゃらんで行ってよかった観光地人気ナンバーワンという、こういう所にですね天草が選ばれたという事でせ니까だからホームページでこれも積極的にPRしようということですね、ホームページの一番最初のタイトルを開けると出てくる所にそれをどんと載せようじゃないかということで、そういう風な意見が出て、即それを反映させていただきました。それと宿泊ページの内容についての協議をしたんですけども、飲食店に関しては各飲食店詳細ページがホームページの中から入っていけるようになってますけど、実は宿泊施設のそういった詳細ページがなかったということで意見がございまして、これはやっぱり宿泊施設というのはやっぱり観光の大きなアイテムになるということで、この宿泊施設の詳細ページを作るべきだという話になって今、準備をすすめているのかな。どのくらいの費用がかかるのかそういうことをしてまして、これは逆に費用がかかったとしても絶対やるべきだということですね、事業委員会の方では決定をさせていただいております。それと31年度の事業計画案について、4回の委員会で審議をさせていただきました。その中でグルメキャンペーンがですね資料の5ページを開いていただきますと、補助事業ということで、生うに三昧、伊勢えび祭り、あまくさ井井フェア、夜美鍋キャンペーン、yhん天草朝食ということで5つのキャンペーンがあるんですけどもこれらの補助金ですね割振りが適切なのかどうかということで、それと内容がもっとこう充実をはかれないかというようなちょっと話がありまして第2回では各グルメキャンペーンの委員長をお呼びしてですね委員会の中でプレゼンというか、平成30年度の報告、今の現状、進捗状況であるとか、今後の取組の計画であるとかそういうのを審議させていただきました。この説明をもとにですね来年度については、予算を査定して行ってですね金額を決めていくという形に、今まではそのまま流れてたんですけども、そういうところまでしっかりやっていこうということで決めさせていただいた次第であります。大変やってよかったなど、いろんなアイデアが出てですね、斬新なアイデアもありましたし、いろんなキャンペーンの委員長さん達もたぶん気づかれなかったことがたくさん出てきたのかなということで、事業委員会の一定の役割は果たせるのかなというふうに思います。それと天草市の業務受託の件について協議を行いました。その中で4ページに書いてある九州一の観光地を目指して420万人顧客化プロジェクトというところで、観光協会の基本方針というところで大きなタイトルになっていますけれども、ここについてもですね天草市のアクションプランの変更で、要は420万人というのはどうやって数えられているのかと、具体的な根拠がなかなかはっきりしないということで、これを宿泊者数に変えたいという話を今事業委員会の中で話をしています。これについては、天草市の市の総合計画になかのアクションプランにですね、この420万人というのがですね、打たれている関係もあってここがたぶん変わっていくのかな、変わって行かないとしたときに、変わったらそこをそれに替えましょうと、変わらなかったとしても、420万人の中にサブタイトルとして

宿泊客数の目標ということをしっかりうたい込んで行こうということで話をさせていただきました。以上です。

(松本副会長)

只今、総務委員長、事業委員長よりご説明がありましたけれどもこれについて皆様に意見を伺いたいと思いますけれども、よろしく願いいたします。会費の件で皆様方に先ほどからお伝えしておりますけれども、最低ラインの5,000円。1口5,000円、1口10,000円というこの銀紙について皆様方いかがでございましょうか。

(藤本理事)

副会長、運営会社がありますよね。運営会社が施設をいくつも持ってる場合もありますよね。その運営施設を集約した数字なんですかね。濱崎理事なんかは、4件旅館ありますけれども、その4件ごとの会費なのか、それとも4件まとめた数字なのか、山本さんも運営施設ありますけれども。

(赤木事務局長)

正直今総務委員会ではそこまでは、施設ごとにするか企業ごとにするかまではまだ協議がいてないというところ。

(松本副会長)

今おっしゃった通り1つの事業団体が3つ4つ物件を持っておられる、そういうところをどうするかという意見だと思いますけれども、そこまではまだ総務委員会では揉んでおりません。ただ今まで何回か総務委員会で揉んできましてですね、それを理事会あたりで示してきましたけれども、なかなか最低ラインというのが決まっていけないんじゃないかということですね。総務委員会でも意見が出て、今回だけは第一にこの最低ラインを決めてですね。それから一応これが今日の理事会でご承認をいただければその上の段階に行ったときはじめて只今天草支部の委員のかたから問題が出ました、その1つの会社で3つ4つやっているとどうするか、クラス的にどういうふうなクラスに分けていくのか。という風な段階に入っていければいいんじゃないかなというふうに思っております。一番最低ラインが決まっていなくてやはり、次の今言われたような問題に絡めていけば、今までの全然前に進んでいなかったんですね。そういう観点から一番最低ラインの5,000円を10,000円というのを色分けをして、それから今日の理事会にかけてご承認を頂ければそれで決まり。その上の段階はこれから旅館また事業者に対しても規模が違いますのでそういうところもどういう風な埋め方で会費のあれに含めていくのかというのは、この次の段階なんじゃないかと思っております。

(濱崎副会長)

局長。この5,000円と10,000円の違っているのは、今1つ企業だけでも個人を選んだ場合はいろんなものに載せないとかっていうその差をみなさんに。

(事務局 赤木)

私の方から改めて説明させていただきます。5,000円の個人会員さんにつきましては、今の現状通り議決権を有した形で個人会員として入っていただく、法人会員、団体会員の10,000円以上に関しましては、資料の1ページの記載の通り個人会員と明確にメリットを、違いを分けるために、例えば伊勢えび祭りであったり井井フェア、またチラシであったりホームページ等への記載を5,000円と10,000円で、5,000円の所はしない、10,000円以上の所はするということで、事業に参加される、もしくは観光事業者に関しては10,000円以上のところに入っていただくというか、会費見直しして頂くというところになっております。

(松本副会長)

今ご説明がありましたけれどもどなたか意見をお伺いしたいとおもいます。

(濱崎理事)

藤本理事からもありましたけど、各施設ごとに会費を設けるべきなのかそれともトータルとして收容人員か、確かにそういうところ触れていかないといけない問題であると思うんですよね、そういう所何件かありますからね。それともう一つは、同じ支部に民宿6名でやっていて単価が安い、同じ5部屋でも客単価が高いところあるわけですね、そういうところどうするのかと、同じ会費で民宿で、6部屋で30,000円、40,000円取ってる所もあるのでそこをどうするのか。收容人員で行くとそういう所が出てくると思うんですよ。1泊5,000円の所もあれば、20,000円の所もありますからね。そういうのを今後課題として各施設ごとに決めていくのか、トータルの1つの会社をまとめた中ですね施設ごとで決めていかなければ単価が違うんですよね。受入の単価が全くですね。そこはまだ時間があるので総務委員会のほうで検討をしていただければどうですかね。

(松本副会長)

5,000円と10,000円の中ですか。

(濱崎理事)

今言うように藤本理事から意見があったように施設ごとに、同じ会社で何件も旅館を持つところもあるんですよ。そういうところ施設ごとに会費を改めるのか、会社ごとで会費を定めるのか、施設の中で1部屋で2万とか3万とかとるところもあれば、1部屋で6,000円しか単価的に取らないところもあるわけですよ、そういうところを同じ收容人員で取っていいの

かという問題ですよね。トータルで考えんばいけんと思うんですよね

(松本副会長)

これに対して濱崎理事より意見が出ましたが、皆様方のお考え意見はどうでしょうか。他の考え方もいいと思いますけれども。意見がある方は、一つ出していただいて。これも相当何回か理事会で諮ってきておりますので、おそらく今回ぐらいからはある程度の線を決めていって、その次に進んだほうがいいんじゃないかという意見が総務委員会でも出ております。今濱崎理事の方からもその10,000円の中でも部屋数によっていろいろ違うんじゃないかとかかっている意見がありましたけれども。

(山本理事)

たぶん異業種の方からだったら、その業界のことがわからないから売上とか人数でみたいなのはわかりにくかと思うんですよね、たぶん。ホテルさんはその客単価がちゃんと分かるからいいんですけど、飲食だったら客単価は違うんですけれども、売上でいくらとかしにくいですよね。例えば10,000円、20,000円料亭みたいところから居酒屋からあるわけなんですけど、そこを客単価で取るとなると業界でうちうちで話さないと分からない部分なんじゃないかなと思って、最低ラインは決めてその後の段階で決めるときには、その業界の人たちになるべく集まってもらって話をした方が、地区地区ごとでその話をしてくれと言われると大変じゃないかなと思いますね。よければ部会がないですけど、例えばホテル部会だとか飲食関係の人だとかを、こういう地区関係なしに集めて話すとか、そこに意見を聞くとかにしたほうがこの理事さん方でいろいろホテルの単価が違うけんが金変えた方がいいんじゃないかとか意見を言える人間はいないんじゃないかなと思いますね。飲食でもそんな感じなので。その時は業界の中でそうしたほうがいいのであれば、会員さんでそこに携わってる人から意見を聞くとかいうのを一回したらいいんじゃないかなと思いますね。なかなかわからないです。20,000円お店だけん倍払ってよかつじゃなかって私と言えないので、そこは難しいなと思ってですね。同じ飲食でもあんなの所はよか客来るもねいっぱい払いなっせとは言えんですよね。たくさん入るけんいっぱいくれとは言えるんですけどですね。なんかそこら辺がちょっとわかりにくいかかと。

(濱崎副会長)

今の望洋閣の社長のおっしゃることで、なんですか施設によってとかそこはまた煮詰めますけれども現段階で私もどっちかというところちょっと反対の方だったんですよね。5,000円を10,000円に上げるとは、いろいろ聞くうちに大所高所から見た場合にそうすべきだと。例えば牛深で今140何名かおりますけど1件1件説明して回ってそれを全部牛深は牛深支部でがんばってまとめたいと思います。これを旅館、飲食とかするとなかなか難しかもんですから説明して。ただ減るかもしれんし、上がるかもしれんですけども極力今の線を保つよう

にしたいと思います。

(馬場副会長)

これはもともと個人という個人事業主を個人会員と扱うのか、法人として扱うのかで値段が変わってくると思うんですよ。本渡支部はそういう事で全部個人事業主は事業所名で登録されるのであれば、すべて法人として扱いますよ、だから10,000円にあげてくださいと支部長中心に今変えていってるんですけども、その最低をどうするかということをもとに決めんとたぶんまとまらないですよ。そこをちょっともう一回確認をした方が。

(松本副会長)

個人名の場合だったら、私松本國雄ですけど松本國雄で登録をする。やはり法人の場合であつたらうちは民宿あさひ荘という屋号がありますのでそれで登録をするという仕分けかたですよ。今我々が考えているのは、やはりそうなってきた場合は最低ラインが今言われた民宿あたりが1番最低ラインになってくるのではないかなと、1口10,000円ですね。個人会員になった場合は松本國雄なら松本國雄でご登録をさせていただいていいんですけども、今藤本さん達からご意見ありましたけれども、ホームページをつくってもそれには載りませんよというふうな、やはりそういうあれがどっかに色分けせんと5,000円と10,000円の差が出てこないのではないかという事で総務委員会ではさうとう議論をいたしまして、一応とにかくこの理事会でご承認いただきたいのが来年、再来年度から一応最低を5,000円、10,000円で決めていただいてその上の段階はまだ日にちがありますので、今山本さんからも意見がありましたけれども各業種別で分かれて話をするのか、まあ全体会議でいくらというふうな感じを出していくのかゆうふうにしていかないと、なかなかこう前に進まないというのが今までの結果でございます。できればこう急じゃありませんけれども今後いろいろふまえてですね5,000円と10,000円というふうな最低ラインを決めていただければこの次からその上の段階ですね。やはり各店によってあんたん処は2口でよかつちやなかつち、こっちは3口ぐらいでよかちやなかつちという風な意見が出てくると思います。そういう中でその事業主さん達あたりがやはり金額的な問題になってきますので、ご相談し納得をいただければこの金額で決まってくんじやないかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。この10,000円と5,000円という時点でよろしいでしょうか？いろいろ出費の中でですねご相談というのはなかなか、下げるのはあれしますけれども上げるということはなかなか大変だと思います。いろいろ我々も総務委員会して意見を出せば恨まれる方もいらっしゃるかもしれませんが、やはりどっかではこういうあれには1つの区切りをつけて前に進めなくちゃいけないのかなと思っております。

(崎本理事)

五和の場合先ほど藤本さんの意見で1つの業者でいくつもしてる。五和の場合今民宿しとらす

中では、よその地区に出しとるってことは今7件で民宿してますけれどもみんな10,000円に上げてもらっておりますし、ここで決めてある通り5,000円の個人会員であったら観光協会の宣伝とかなんとかにな全然載らないよと、10,000円払ってもらって観光協会としても協力するからということで10,000円にしてもらっておりますし、これから一番中心になっていかなければならないイルカの業者、観光業者まだ5,000円と10,000円とに分かれていますからできればそのイルカの業者そういう所は一律にみんな、民宿はどんなに小さいところでも、1週間に1回か2回しか企画がないところでも旅館組合として全部10,000円にしてくれということ、それで承諾してもらっておりますので、イルカの業者もそんな風をお願いをしようとは思っています。ただ旅館のほうも五和が3年前からそんな風にしてますので、五和ばかり先に決めてしまっているものもあるんですね。全体のが決まったらうちもそれに協力してしていくという。今五和のほうはあんまり会費については、全然昔から本渡も多かったんですけども市役所のみなさん観光協会の会員にしようがないからとなっていた方もだいぶいました。そういう方には全然手をつけてないのが現状ですし、主にマップに載せたり宣伝したりするのも一緒にかねてしてもらって観光協会のことに恩恵を受けるところは10,000円ということ、うちはそういう感じで今動いています。

(松本副会長)

今五和の方からご意見いただきましたけれども、他の支部のみなさんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。5,000円と10,000円という金額で。最低ラインを決めていただいてその上の企業については、またこれから総務委員会なり、またみなさんと理事会等でですね、こちらからまたたたき台を出すかどうかわかりませんが検討して頂くという事でよろしいでしょうか。

(理事各位)

異議なし。

(松本副会長)

ありがとうございます。それでは、5,000円と10,000円で決めさせていただきたいと思います。

(2)平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について

(事務局 大塚)

4ページをご覧ください。2019年度基本方針。九州一の観光地を目指して、420万人顧客化プロジェクト。先ほど馬場副会長からもございました通り、こちらは天草市のアクションプランの変更とともに宿泊客数の目標を今後設定していきたいと思っております。次に崎津集落の世界文化遺産登録。九州・山口行って良かった観光地ランキング1位など天草にとり、明るい話題が多かった昨年の波を持続していくためにも、世界遺産と食、そしておもてなしで訪

(一社) 天草宝島観光協会

れる方々に感動を届けたいと思います。そして訪れた方が天草に行ってよかったと思えるように、私たちが天草に住んでよかったと思える島づくりを行っていきます。基本方針は5つございます。天草の食で感動をお届けします。食のキャンペーン。世界遺産の島で感動をお届けします。AGT対応やDCの活用、周遊施策。3わくわくする旅で感動をお届けします。情報発信とHPの充実、外国人、モデルコースの充実。4天草の人で感動をお届けします。地域事業、おもてなしの充実、ガイド、満足度調査。5持続可能な組織づくりを行っていきます。自主財源、マーケティングという4つの基本方針を示していきます。続きまして5ページ、6ページをご覧ください。補助事業分の細かところになっております。本年度と変更している部分を中心に説明をしていきます。1観光宣伝及び観光客の誘致。こちらの方は本年度と引続き、先ほど馬場副会長からもありました通り各委員長に事業委員会に来ていただきまして、内容等を現在精査して、次の年度の予算の内訳については現在協議しているところです。事業予算としては各種キャンペーンの実施及びセールス活動ということで15,700,000円、2各地域の誘客事業、こちらはそれぞれ各支部の事業の実施ということで15,000,000円、続きまして誘客促進展開、こちらは本年度と同じで200,000円、当観光協会のSNSフォロワー数を伸ばすことと、九州観光推進機構や熊本県等が実施する大都市圏でのPR活動に協力ということになっております。6ページをご覧ください。観光に関する調査及び情報の収集、提供。1専門家による素材研究。こちらは観光地ランキング1位になりましたのを、継続して1位を取り続けるために専門家を招聘した勉強会の開催。こちらが300,000円。3観光客受入態勢の整備、こちらが1,400,000円で情報媒体、ランチガイドブックの作成ということで1,400,000円になっております。昨年8万部増刷してありまして、増改定ということで、こちらの予算が若干減って1,400,000円ということにしております。4観光関係諸機関との連携協調、こちらが補助事業で1,000,000円こちらは島の宝観光連盟が設立し旅費等もかかる遠隔地からのプロモーションを行うところで、本年よりも200,000円増えまして、1,000,000円としております。つづきまして7ページ、8ページのほうをご覧ください。こちらが天草市への業務受託分の事業計画になります。本来天草市がしたほうが良い事業なんですけれども、観光協会が実施した方が効率的、効果的にできるということで提案を含めたところの事業計画になっております。1観光宣伝及び観光客の誘致のほうなんです、1メディアを活用した情報発信、こちらの方は本年制作しました島民参加型のCMの継続放送、福岡、熊本地域からの宿泊客の獲得に繋げるということで、テレビの長期プロモーションの実施を含めまして6,058,000円になっております。招待事業及び誘致活動推進の方が、来年夏熊本デスティネーションキャンペーンが行われますことから、旅行会社等の招待事業パブリシティによる情報発信、商品造成ということでかわらず730,000円です。観光ガイドの活用、こちらにも変更ございまして、観光客のスムーズな受入とガイドの満足度調査ということで1,895,000円。2観光資源開発及び保護育成。こちらの方は旅行会社に対し天草市内に1泊するツアーに対して助成金を出しているんですけれども、そちらの実施と、本年度はモニターツアーお1人様のモニターツアーを実施

するということになっておりますが、そちらを来年度辞めまして2,851,000円としております。3観光客受入態勢の整備。こちらは現在やっております牛深海彩館2階の牛深観光案内所の運營業務、下田ぷらっとへの観光案内業務の委託、本渡港コンシェルジュ業務というところで、こちらは変わらず4,471,000円です。8ページをご覧ください。おもてなしの向上。こちらの方は今現在先ほどご報告しました、天草サマースタンプラリーを実施しておりますが、こちらの継続実施とみつばちラジオによります島内向けの情報発信の継続実施、ぷらすしまして、観光タクシーなどのおもてなしの向上対策を追加しております、こちらが1,080,000円追加しまして、こちらは増えております。2,800,000円。3情報媒体の作成。こちらの方はホームページを活用した情報発信、イラストマップの増改定とお客様へのパンフレット、観光案内所への送付、DMの送料となっているんですけども、こちらの方は予算が増えておまして現在先ほど報告したんですけども、スマホのアクセス数が昨年度に比べまして120%アップしております。しかしながら当協会HP、スマホの両方のサイトを持っておまして、タブレットだったりスマートフォンだったり異なるサイズの画面を柔軟に調整して見やすくするレスポンス対応になっていないページもございますので、こちらをレスポンス対応にするということで予算が増えまして11,742,000円になります。つづきまして9ページをご覧ください。外国人観光客誘致事業なんですけれども、本年度外国人に向けたHPの充実をすることになっております。それに加えて、今年度、来年度なんですけれども、外国語のマップの改定、増刷、ぷらす外国語によるSNSの情報発信というところで2,733,000円となっております。以上です。引き続きまして予算の方は城下チーフのほうより説明します。

(事務局 城下)

10ページをご覧ください。平成31年度一般会計収支予算案。1会費収入5,600,000円こちらは平成29年度決算が5,300,000円補正でしたので、今会費の会費について検討しておりますけれども、退会とかも含めまして300,000円ぷらすの見込みで5,600,000円とさせていただきます。補助金収入が62,315,000円、雑収入350,000円、繰越金が現在予備費に入っております。4,700,000円そのままあげさせていただきます。負担金が2,100,000円。収入合計75,065,000円となります。11ページ支出の部をご覧ください。観光船及び観光客誘致促進事業費、30,700,000円、3調査研究事業費300,000円、4観光客受入態勢整備事業1,400,000円、観光関連諸機関との連携事業1,000,000円です。事業費合計が33,400,000円とさせていただきます。運営費が給与21,158,000円、福利厚生費4,825,000円、会議費814,000円、旅費交通費600,000円、什器備品費100,000円、消耗品費1,368,000円、修繕費150,000円、印刷製本費260,000円、賃借料3,248,000円、委託料1,970,000円、燃料費480,000

(一社) 天草宝島観光協会

円、光熱水費641,000円、通信運搬費1,521,000円、諸謝金50,000円、租税公課100,000円、負担金964,000円、渉外費300,000円、購読料200,000円、雑費1,000円、予備費に2,915,000円、運営費合計が38,750,000円。総額が75,065,000円とさせていただきたいと思います。12ページをお開き下さい。平成31年度特別会計予算案となります。事業収入が合計64,278,900円。旅行商品販売事業収入変わらず一緒です。広告収入も一緒です。宿泊手配収入1,250,000円一緒です。変わりましたのが6番の業務受託料ポルトの受託料が150,000円ほど上がっておりまして、あと事業の受託が4,583,000円合計で49,498,000円とさせていただきます。収入合計が69,279,000円とさせていただきます。支出の部が事業費合計が57,009,000円、着地型旅行商品販売も同じで、給料が若干下がりました1,331,000円、福利厚生費が2,671,000円、業務受託費が22,470,000円、交流事業費が300,000円、管理諸費が7,009,000円、光熱水費4,656,000円、通信費も一緒に210,000円、消耗品費も同じで300,000円、借料が823,000円、製作費が500,000円、雑費が260,000円、管理費が7,750,000円、支出合計が64,759,000円とさせていただきたいと思います。13ページが各支部からの予算要求額、この表の右から2番目平成31年度要求額ちょっと太い字で書いてますけれども、こちらが31年度の各支部からの予算要求額となります。増えてますのが天草東支部、御所浦の印刷費がちょっと増えています。本渡支部はマイナス190,000円となっています。天草支部は、600,000円増となっておりますけれども、32ページですな協賛金のところの3の伊勢えびグルメプランの所が、すいません総務委員会の訂正になりますけれども、グルメプランのイベントということで変えさせていただいています。増えたのはBBQツーリングと下田温泉祭り、こちらが増で今年度費600,000円の増となっております。15ページから34ページまでは各支部の事業計画案と予算書案となっておりますので後でご確認ください。以上になります。

(赤木事務局長)

補足で、今ご説明させていただいた、来年度の事業計画と予算案につきまして天草市の方に対して予算要求が10月から始まりますので今日ご審議いただきましてご承認いただいた案をもとに天草市の方に提出をさせていただいて、それから何ヶ月かかけて折衝していくという形になります。よろしく願いいたします。

(松本副会長)

只今事務局の方から来年度の事業計画予算案について、只今局長の方から予算案については、一応この予算案で市の方と折衝するという事ですが、皆様方にお諮りしたいと思います。事業と予算案についていろいろと皆様にご審議していただくんですけども、一応ご意見があられる方は伺いたいと思いますけれどもご意見ございますか。

(一社) 天草宝島観光協会

(山本理事)

事務局のほうにお尋ねというかお願いなんですけれども、支部ではなくて実行委員会のほうで、井井フェアの実行委員会のほうをしているんですけれども、井井フェアの実行委員会の頂いている予算の中でホームページのスマホ対応、それとアンケート調査費というのを事業で持ってるんですけれども、これを本部がホームページを管理されてアンケート集約っていう事業を持たれてるので、本部の方の事業として受け持ってもらえないかなと思ひまして、なぜかという今まで予算を入れてなくて予算を組んでたんですけれども、今後ホームページとかスマホ対応にするので今年は100,000円いりますとか、井井フェアが一番アンケートを取ってるやつだと思うんですけれども、今までずっと手作業でやってたのをお願いをやっぱりするようになったんですけれども、それを事業の中に入れていくとどんどんどんどん増えれば増えるほどその費用が上がって行って、他のものの整合性というか、他の物の予算を削らないといけなくなるのでその部分を本部で持っていただけると事業を実施したり、事業にかかる予算だけに出していきやすいので、予算の時の作り方が楽になるのでそれをちょっと見当してもらえないかなと思ひます。本年度でなくてもいいのでそれを考えていただければ、他の事業も同じだと思うんですけれども、今お客様のアンケートを取ろうとして伊勢えび祭りなどアンケートを取ったやつが全部事業の中から受託で集だったりとか、ホームページ作ったときのスマホ対応費は事業費でしてくれと言われるとやっぱりなかなか予算化しにくいじゃないかなと思ひるので、本部で一括でホームページとか持ってもらってやっていただけるとありがたいなと。ご検討をお願いします。

(赤木事務局長)

今食のキャンペーンに関しては、アンケートを一番大事にしててどんどん取ってきてくださいっていう形をお願いしてて、一方で集計には人件費が経費のうちも外注をアルバイトみたいな形をお願いしてるので、そこをどこに計上しようかなと予算をです。

(馬場副会長)

それって、グルメキャンペーンとかば統一してアンケートフォームなんかばだめやと。例えばグルメキャンペーンのタイトル変えることによって集計はされんのかな。そういうのば1回本部でホームページ用に作るとかそういうのはできんかなと思ひ。毎回毎回作るんじゃなくて、それだったら簡単にできるような感じがする。

(赤木事務局長)

アンケートのフォームというか基本的に今紙でして。

(馬場副会長)

紙なんだけれどもそれをスマホ対応とかって話があつてる中で、食事を食べたあとに携帯でつという話でしょ今。

(山本理事)

そういう話ではなくてですね。井井フェアのホームページ観光協会内にあるんですよ。孤立して作っていただいているんですけど、それがスマホ対応にするならお金が余計にかかりますよつという風に言われてその分を計上していなかったので広告費を減らして今年は拮出をしたんですよ。そして

支部の事業でもそうなんですけれども、例えばタコ釣りなんかページがスマホ対応だと作るのに300,000円かかりますとか言われて、予算をした後に言われても、その300,000円は拮出できないので、今回はあきらめてスマホは対応しないようにして来年は考えましようつという話になったので、その部分が意外と自分たちが思っている以上に大きかったんですよ、何万の世界とかじゃなくて何十万の世界だったので、頂いている予算で1,000,000円とかの中で300,000円だったら3分の1なので事業がうまく回らなくなって諦めざる得ないので、本部で一括して何百万つという予算を持ってしてくれるとありがたいなと思つてますね。

(松本副会長)

どうでしょう。意見が出ましたけれども、今即答ということはできんでしょうから。

(山本理事)

はい。検討してもらえれば。

(濱崎理事)

統計調査というか、アンケート統計取りよつたやろ。事務局の方で別にできんことじゃなかつと思うけどね。これだけ優秀な人がそろつるとに。

(赤木事務局長)

アンケート集計に関してはただ単に入力作業になるので、ほとんど外注でアルバイトを緊急で雇つてお願いをして、何日間か来てもらつてしてもらつてる状況なので、そのやり方が単純に5つ食のキャンペーンがあるので、スマホサイトについても今来年変えたい所で考えていますので、この経費含めて、やり方含めてちょっと考えさせてもらいたい。

(馬場副会長)

事業委員会でもその辺揉んでいかんといけんかもしれんね。

(山本理事)

何百枚とかなら個人でできてたんですけれども、私達も古川君と二人でやってた時は500枚くらいは、してたんですけれども1,000、2,000になったらですね、もう本当にできないですよ。優秀っていわれても本当にかかりっきりで大変だったので、今井井フェアだと10,000超えてるのでお願いをしてるんですよ、そうすると外注といわれたように2日間かけてその人がやってもらうとかで作ってもらいんですけど、意外とそれが思ってた以上にお金が高かったのです。

(濱崎理事)

この問題は下田の時から出とったとよね。宝島観光協会のホームページをスマホ対応にするってなったときにこうやっていきますといったわけだから、あともうバイトかなんか分らんけどそれくらいの経費出せる所はなかとね。

(赤木事務局長)

各キャンペーンのですねアンケートが井井フェア、伊勢えび祭り、うに三昧とかも何千枚規模でくるので、うちの人件費よりもバイト雇った方が圧倒的に安いので。

(山本理事)

先に予算にある程度入れとってもらえればね。それをちょっとお願いしたいな。

(濱崎理事)

うちなんかも一緒に、前下田温泉伊勢えび祭りのときは、全部データとかそういうのは手入力しよったんですよ。そういうのを全体で宝島でやろうってなったときに集計してくれよったよ。今の状況としてはね、

(松本副会長)

それは事務局として検討課題として覚えておいてください。他になにかございませんか。

(濱崎副会長)

僕から聞くのはおかしなばってん、4ページからを市の方に出すとですか。420万人顧客化プロジェクトとこれと予算を出すとはですか。

(赤木事務局長)

4ページから12ページまでを出します。もっと細かな内訳、根拠とかも出さないといけないのでもっと資料はあるんですけど。

(濱崎副会長)

例えば420万人となんてるところもざっくり言えば380万人じゃなかですか、そういうところの差っていうのもここで見ようっておもうとですけども、もう一つ3ページに宿泊実績の報告っていうのがあったんですけど、やっぱり宿泊は入れるべきだと思うんですよ。さっき言った議会の決算委員会で指摘されたのは、予算が増えているのに25万に下がっていると、だから宿泊もある程度の目標を立てた方がよかつじゃなかつですか。まあ手前味噌ですけども、この中で経済効果を有するものが中村課長たちの作らず答弁のなかに日帰りは5,500円、宿泊は17,500円。それには経済効果も違うし、やっぱり経済波及効果も考えると宝島こんなに泊まりっていう、簡単にじゃいかんですよ、こんなして増やします。ぜひ宿泊の方ももう少し明記したほうがよかつじゃなかつですか。

(赤木事務局長)

おっしゃっていただいた通り、事業委員会で出まして4ページに吹き出しで書いてるんですけども、その数字に関しましては今年天草市の方で観光アクションプランを行うんですが、その中でも宿泊者の目標の設定をしていってほしいというところがあるので、そこで設定された数字と合わせて、それも来年度には宿泊者の目標数を入れますという形で向こうにも説明をしようと思っています。

(濱崎副会長)

目標はだいたいいくらぐらいですか。

(赤木事務局長)

そこはまだ決まってはないので。

(濱崎副会長)

宿泊に実績の報告なんかもこんなふうに出てくると、どうなのかなって。せっかく実績の報告があったのであれば。くどかばってん300万で宿泊の実績が30万ぐらいのもんですよ。決して今も多はなかですよ。天草全体でみても出水の1町分も実績はなかつですから。だから夕陽委員としては、夕陽を見て泊まってもらうとか、今度したとはですね、世界遺産の話がありましたように三角が51万来たけど31万です。813,000だけれども登録前の数字になってるんです。その中で富岡製糸場が4倍きて140万きても半分なかって下がるものですよ。時は今、今がんばらば来た人たちにいかに天草を発見してもらうかっていうことを自分は力説したつもりです。来たから連泊してもらって、天草市には2泊以上っていう話をしたんですけども、教会だけ見て帰るのであれば、世界遺産は教会だけじゃなかつですよ、あくまでも集落ですよ。観光客はどうしても教会だけになってくると思うんですよ。その場合に教会だけ見て帰って交通は混雑する、教会はあんぐらいのもんぞといつも言うばってん上五島まで29あるとですよ、教会がですね。そんなに差があるのであれば来たついでって

ということで連泊をお願いしたとですよ。ノーだったですけども、一応関連のあるもので、天草観光連絡協議会の役員会で聞きますということをはっきり言いましたので、局長も一緒に絡んで宿泊のほうに絡んで宝島と行政と我々とで、宿泊の最低30万時代はあるとですよ。24年にいっとるとですよ。泊りが、それからだんだん落ちてきて、去年は25万9千。やっぱり30万ぐらいになっていかんと。そしてそういう数字があつてなかようなもんってこともあつとですよ。どういうカウントのしかたなのか、それからすると僕たちは9月24日の橋のときには阿蘇に宿泊、天草に宿泊50年たって阿蘇は1,800、こっちは。だからいかに頑張らんといかん思うとですよ。だからそういう立場にみんなおる人ばかりだから、もっと見つめながら、ここで言うてよかかわからんけれども、これ予算はこん前会費のことも出しとります。実は牛深に対してかなりいろいろ指摘というかされたとですよ。全部書きましたこうして、こうして裏付けもつけとるとですけど、私が牛深だけんここに出してしまつたら他のも崩れてしまうもんですから、いい意味で今日は市に出すところの予算の了解を得て、何日かって書いてあつたですよ。11月の何日か。その中でももっとも議論してやりましょう。そういうことで事業委員会でも総務委員会でも。ちょっと話がまとまらんですが。もう言いたくてたまらんとですよ。ぴっしゅと書いておりますけれども、そればするとなんで牛深だけと言われるもんですから、だから今まで各支部が言うとはタブーやったじゃなかですか、でもやりましょうよ。やっぱり。

(事務局 赤木)

今ご意見を頂きまして、事業委員会におきましても濱崎副会長も天草の経済波及効果消費額をあげるために、連泊、転泊が必要だということの意見が出されまして、そのためにはまずどういったお客さんが連泊しているのかっていうことと、後連泊させるためにはどういうことを天草でさせる必要があるのか、体験だったりいろいろありますので、そういった所を紹介するためにモデルコースを充実させたほうが、こういう風な形で天草に2泊以上しましょうという形のご案内が必要だということで、基本方針のほうにもモデルコースの充実というところを入れさせていただいております。具体的なやり方までは決まってはいたんですけども、そういった形で転泊、連泊を。

(濱崎副会長)

それはよかですよ。モデルコースがなかとなかなか難しいですよ。また委員会で煮詰めましょう。

(松本副会長)

今いろいろ意見いただきましたけれども、それはまた事業委員会、総務委員会だまたいろいろ検討していただくということで。今年度市の方に出す資料ですよ。これでよろしいでしょうかね。

(藤本理事)

集客面から、崎津が世界遺産に登録されてインバウンド事業がますます必須になってくるんですよ。その中で熊本空港発着で韓国ソウル、台湾、香港3路線飛んでるんですよ。そういうのもっと利用しなきゃなんですけど、ほぼ全便満席なんです。どこに行かれるのかとちょっとリサーチしたら、ほとんど阿蘇に行かれてるんですよ。毎週毎週何百人運んで来るのにですね、天草に来てもらえないのが非常に残念で、いろんな観光推進機構とか観光連盟からうちも直接話があるんですけども、その中でなんで天草は、宝島は行かないのと言われ、うちも予算がない予算がないと言われるもんですから非常にそこはロスで、もったいないなと思ひまして。せめて年百万円もかからないからデンマークとか行って何百万使ってるんだから。十何万で行けますから、費用対効果もありますからぜひ積極的にインバウンドの誘致活動を。せっかく濱崎さんも韓国語しゃべれるから、どんどん利用してセールスして引っ張っていかないともったいないですよ。そういった現状をみなさんご存知ないから。折角直行便が3か国も飛んでるんだから、それももったいないですよ。その辺の費用は投じていいと思うんですよ。

(松本副会長)

他にないかありませんか。ないようでしたらこの予算書で出していいですか。

(各理事)

異議なし。

(4)新規会員の承認について

(事務局 城下)

新規会員の加入について、正会員DININGBAR笑笑1口10,000円本渡支部、合資会社ダスキン1口10,000円本渡支部、EAT7301口10,000円河浦支部、小豆Café1口10,000円新和支部となっております。退会の方なんですけれどもこちらは報告になります。さしみ屋河丁1口5,000円本渡支部、小林衣料品店1口5,000円河浦支部、秀漁丸1口5,000円天草支部、うなぎの日高1口5,000円本渡支部、AYUMIROSE1口5,000円本渡支部、あまくさ農業協同組合有明支所1口10,000円有明支部、あまくさ農業協同組合河浦支所1口10,000円河浦支部、こちらの農協は本所で一括して払われるということで退会されました。硝子工房「まむ」1口5,000円天草東支部となります。賛助会員が株式会社西日本広告社1口10,000円、株式会社ゆうプランニング1口10,000円となっております。以上です。

(松本副会長)

只今新規加入者、退会される事業所について事務局から報告がありましたけれども、報告でよろしいんですよ。

(一社) 天草宝島観光協会

(事務局 赤木)

新規会員だけご承認を頂きたいです。

(松本副会長)

新規会員だけ4事業所ですけれども、よろしいでしょうか。

(各理事)

異議なし。

(崎本理事)

賛助会員は新しく入ったほう。

(事務局 城下)

退会されました。

(5)その他

(事務局 城下)

36ページをご覧ください。会費納入状況の表をつけております。8月末締め切りで会費の請求を送ったところ9月14日の時点で納入率が70%となっております。あと30%177件が未納となっております。本日各支部長さんだけに未納者の名簿を書く机の上にお配りしておりますので、お手数ですけれども各支部で集金をしていただきまして、会費の集金のご協力をお願いいたします。

(松本副会長)

今会費の納入状況について説明がありました。各支部長さんにはそれぞれ未納者のリストが配っておりますので、支部の方で検討し集めていただければと思います。よろしくをお願いします。

(山本理事)

毎回ちょっと弱音を吐かしていただきますと、本部会員を使っていただければ、未納の方の半分は本部会員で、100社くらいでてるんですね。毎年。全員が全員私が知ってる分けてはなく。

(崎本理事)

地元じゃなか人はなかなかね。

(山本理事)

ぜひぜひ本部会員のご検討を。

(濱崎理事)

平成31年度予算案について。通信費ですね。総会の案内とか。半分以上が見とらんと思うとよね。必要のないところに経費出す必要ないし、メリットないしやり方変えた方がよかと思うとよね。変えていく気持ちがないと。経費がもったいない。

(事務局 赤木)

それにつきましては、本当に経費並びに事務局の手間というところ含めて非常に無駄なコストがかかってますので、通信という連絡のやり取りに関しては、例えば三昧については仕入れ状況をSNS、FACEBOOKでのやりとりをしてたりとかというところが始まっていますので、そういった所会費の見直しで個人会員さんも含めて今まで送ってたところも、今後見直してそういった所には送らないといった形等で、できればと思います。

(濱崎理事)

事務方の方向性はそれでよかったですよ。他にになにも意見がでなかったから。それでいいわけでしょう。

(崎本理事)

マグロウォッチング、新和の人間として浜さんがすすめよったけど、本部としてどういう事業かわかるとる。事務局の方は。私がそれ聞きたいのは、天草でマグロと言ったら、新和と牛深2か所だし、うちのイルカ会館を作る関係でどういう風にしようとかたと例えば月に1回くらい解体ショーなんかばしとるとならイルカ会館でももいいかなっていう風に検討ばしとったものだから、わかったらちょっと教えてもらいたいと思って。事務局ではわかっとらん。事業内容としては。去年も予算組んであつて今年も予算組んであつとだから、それは本部で把握しとらんとおかしなことだけん。

(山本理事)

えさやりの見学ツアーで、その後はまや旅館さんでまぐろ丼なんかを食べるみたいな、そんなツアーだったと思います。えさをやる時間が決まっているのでなかなか人集めに苦労するって言われてて、いつ来られてもマグロを見れる訳じゃないみたいって言われてましたね。土日はえさやらんけんできんみたいな。すごい事業だなと思ったのが頭の一部にあつたもんですから。

(事務局 赤木)

今年度の事業については、パンフレットの増改定とホームページの作成の予算に、DVDとかも

こちらに入ってます。

(崎本理事)

内容については事務局が把握しとかんとおかしただけなんですが。

(濱崎理事)

費用対効果って次年度の予算に反映していかんば。

(山本理事)

解体お願いしたら、ブリミーさんは解体資格を持ってらして解体するところを探してらっしゃるので前もって言っとけば、毎月してくださいって言っとけば普通にしてくれらすです。

(馬場副会長)

無料で。

(山本理事)

マグロを買ってもらって。手間はかからないです。マグロを買ってくれらしたら解体はサービスでしてくれらして。

(崎本理事)

冷凍しとるとば後で小分けにして配らすとやろ。

(山本理事)

言っとけば解凍してくれとらすですよ。ブリミーさんは。

(事務局 大塚)

机の方にこちらをお配りしてるんですけども、観光協会も入っております天草宇土半島観光連盟の方で本日9月15日から世界遺産スタンプラリーを現在実施しております。三角西港と崎津集落に寄っていただいて、スタンプを押していただいてアンケートを書いていただくと40名に豪華賞品が当たるというのを実施しております。来年の2月末まで実施しておりますのでご協力を頂ければと思います。

4 閉会

(馬場副会長)

皆様おつかれさまでした。平成31年度の新たな予算申請であるとか折衝であるとか事務局の方もしっかり市の方ともがんばっていきたいと思っております。世界遺産になってですね、崎津が非常にお客さん増えてるってことは、非常にいい事ですけれどもぜひこれを宿泊に繋げ

て、やっぱり天草に滞在していただいて、しっかりお金を落としていただけるような仕組み作りを観光協会として作っていくことが使命だと思いますので、事業委員会も総務委員会も一緒なんですけれども、みなさんで議論していきたいと思います。みなさんのご協力よろしく願いいたします。これを持ちまして第3回理事会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

一般社団法人天草宝島観光協会第3回理事の議事録につきましては、上のとおりです。